



貴船だより

令和4年1月12日発行 第9号
大田区立大森第一小学校
校長 尾上 健二

—健康で安全な生活ができる子—おもいやりがあり仲よく助け合う子—自ら考え行動する子—

学校HP もご覧ください。 <http://academic2.plala.or.jp/omr1-e/>

子供たちが輝く幸せな1年になりますように

校長 尾上 健二

保護者、地域の皆様にはお健やかに新しい年をお迎えることとお喜び申し上げます。ようやく落ち着いたかに見えた新型コロナウイルスも新たな変異株の感染拡大が徐々に広がり、予断を許さない状況で3学期を迎えることとなりました。子供たちの学校生活、そして学びを止めないことを念頭に、感染状況を踏まえながら、安心、安全な教育活動を心がけて、今学期も指導に努めてまいります。

さて、先月行われた大田区小学生駅伝大会では大変素晴らしい成績を収めることができました。5・6年生から選抜された駅伝メンバーは日頃からの練習の成果を存分に発揮し、午前の部で2位という記録を残すことができました。子供たちが日々の練習の中で互いの絆を深め、一人がチームのために、チームは一人のためにできることを選手自らが考え、実践してきた成果です。「継続は力なり」を見事に表現したことは、下級生にとって大変力強いメッセージとなりました。今後の後輩達の活躍が楽しみです。

振り返れば2021年も新型コロナウイルスに翻弄された1年となりましたが、学校の教育活動は工夫をしながら、少しずつ実施できることが増えました。夏の水泳指導は2年ぶりに実施できました。体育学習発表会、6年生の移動教室、そして学芸会。子供たちは学校行事でしか培うことができない力を身に付け、そして友達と協力して作り上げる楽しさを味わうことができました。子供たちが新しい生活様式をしっかりと意識して過ごしていたこと、そして各ご家庭で子供たちを注意深く見守っていただいていることが大きな要因です。2022年も厳しい状況が続くかもしれません。しかし心配や不安ばかりを抱かず、新しい年をしっかりと目標をもって前進していきたいです。引き続き、学校で学ぶことよさや楽しさを学習、行事の中で子供たちが感じられるように、そして子供たちが互いを認め合い、支え合う大切さを実感できるような教育活動を工夫して展開してまいります。

今年の干支「壬寅（みずのえとら）」は「新しく立ち上がる」や「生まれたものが成長する」という意味があり、厳しい冬を乗り越えたあと、生命力に満ちあふれた春がやってくることを示しているそうです。先が見通せない状況ですが、子供たちが、新しいことに挑戦する、そして自分のよさを蓄えた力でさらに伸ばす、そんな年になることを心より願っています。今日から3学期が始まります。子供たち一人一人が、ますます輝きを放ち、成長を実感できる1年を過ごせるように、本年も本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いたします。

日	曜日	1月行事予定 ()数字は学年	放課後遊び
11	火	始業式 4時間(全)	
12	水	給食始 校内書き初め実施日 発育測定(1・2) 昔遊び月間(～29日)	
13	木	発育測定(3・4) 補習教室	
14	金	衛生検査 発育測定(5・6)	○
15	土		
16	日		
17	月	一校一取組週間 全校朝会 キャリア教育(6) 委員会活動(4代表・5・6)	
18	火	なかよしタイム ランニングタイム(1・6) 誕生会給食 補習教室	○
19	水	校内書き初め展(～2/5) ランニングタイム(2・4) 特別時程 5時間(全)	
20	木	児童集会 ランニングタイム(3・5) 個人面談① 特別時程 5時間(全)	
21	金	記名タイム 個人面談② 特別時程 5時間(全)	
22	土	海苔付け 伝統引継式(5・6) 土曜補習 ↓ 避難訓練(1年生引き取り)	
23	日		
24	月	全校朝会 海苔取り クラブ活動(4～6)	
25	火	体育朝会(1・6) 研究授業(3-2) 特別時程 4時間(全) 3-2のみ5時間	
26	水	体育朝会(2・4) 個人面談③ 特別時程	
27	木	体育朝会(3・5) 個人面談④ 特別時程 5時間(全)	
28	金	特別時程	
29	土		
30	日		
31	月	あいさつキャンペーン(～2/4) 全校朝会 ↓ 個人面談⑤ 特別時程 5時間(全)	

※ 行事予定は変更になることがあります。

1月 目標	生活目標「ものを大事にしよう」 保健目標「教室の空気入れかえをしましょう」 給食目標「毎日の食事に感謝をしよう」
----------	--

1月24日～30日は「全国学校給食週間」

学校給食は、児童の適正な栄養摂取を促すだけでなく、集団での食事のルール・マナーの指導や、食への感謝の心を育成する役割もあります。新型コロナウイルス感染症の影響は続きますが、学校教育の一部として、総合的に「食育」を行っています。

今年度、給食委員会では「リクエスト給食」や「残菜調べ」に取り組んでいます。栄養士と連携しながら、残菜量を数や割合に数値化して紹介することで、子供たちにも新たな発見があったようです。3学期の献立には、アンケートで選ばれたリクエスト給食も出てきます。ご家庭でも、話題にいただけると幸いです。

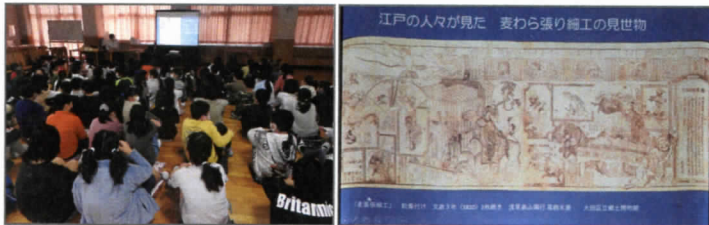
4年生の教室から

～大森の伝統文化「麦わら細工」～

4年担任 平間詩乃 館岡将之 大崎和彦

12月9日(木)に麦わら細工体験授業を行いました。大田区郷土博物館からお招きした、藤塚先生と小室先生に「麦わら細工の歴史」と「麦わら細工の作り方」について授業をしていただきました。

「麦わら細工の歴史」では、大森の特色の一つであることや江戸時代から続く由緒ある伝統文化であることを知り、子ども達は驚いていました。



「麦わら細工の作り方」では、

- ①麦を節から1cmの所で切る。(ストローのような状態にする)
- ②切った麦を10秒間水に浸ける。(麦を裂きやすいように柔らかくする)
- ③ストロー状の麦をハサミを使って裂く。
- ④開いた状態の麦をアイロンにかけ、丁寧に伸ばす。
- ⑤光沢が出てきたら完成!

という5段階に分かれている麦わら細工の製作工程に子ども達は一つ一つ丁寧に取り組んでいました。初めて使うアイロンに戸惑ったり、麦わらの光沢をどう生かすか迷ったりしながら制作しました。

完成した麦わら細工の作品には、1人1人の個性が溢れ出ていました。市松模様を描き、麦わらの特徴を上手に生かした作品や、お正月やクリスマスなどの季節柄をイメージした細かい作品などオリジナルの作品を制作することができました。

3年生では「海苔付け体験」、4年生では「麦わら細工体験」など地域の伝統文化を学習してきました。子ども達は自分たちが住んでいる街「大森」の歴史を様々な行事を通して知ることができました。

3学期の総合的な学習の時間では、その学んできた伝統文化を、どのようにまとめて、どのような方法で発信していくかを皆で考えていきます。今年度も子ども達の教育活動への御協力よろしくお願いたします。



「第10回小学生駅伝大会」報告

体育部 駅伝担当 梅川 颯太

昨年12月18日(土)、大田スタジアムにて、第10回小学生駅伝大会が行われました。

大会に向けて5・6年生から代表選手を選抜し、放課後練習をする日々が続きました。放課後練習では、タイムの計測をしたり、大会に向けた襷の受け渡しをしたりするなど、様々な練習を繰り返し行ってきました。また、放課後練習だけでなく、登校時間前に集まって自主練習を行い、大会に向けて準備をする児童も多くいました。練習を重ねていくと、速く走れるようになっただけでなく、チームとして団結してきました。

大会当日は、一人一人が自分のためだけでなく、チームのために全力で走りきることができました。結果は午前の部の30校中、2位という好成績を残し、これまで練習してきた成果を出し切った、素晴らしい結果で終わることができました。代表として走った児童には、今後この経験を生かし、さらに頑張ってもらいたいと思います。また、6年生の姿を見て「来年こそは1位を」という頼もしい5年生の姿も見受けられました。来年度もこの大会を目指して努力する児童が増え、より運動に親しむことができるよう指導していきたいと思っています。



委員会活動

～よりよい生活を楽しむために～

特別活動部担当 時里・館岡

本校では、5・6年生を中心に委員会活動を行っています。活動の目的は、「学校生活をよりよく楽しくするために、自主的に他の人たちのために活動すること。」「一人ひとりが仕事を分担し、自分の役割と責任を果たすこと。」です。

今年度から委員会活動は、2期制から通年での活動になりました。1年間を見通した活動を子ども達が考え、様々な活動を進めることができました。

保健委員会では、年間を通して3回「さわやかチェックキャンペーン」を実施し、ハンカチ・ティッシュを常備できる呼び掛けをする取り組みを考えました。曜日ごとの保健室当番を定期的に変え、話し合う場面が増え、異学年交流がより深まりました。

環境委員会は、大森第一小学校にある花壇やみどりの広場に花を約300鉢置いて、色鮮やかな環境を創り出す取り組みをしています。

その他の委員会も、子ども達がよりよい生活を送れるように活動しています。

